

第445回和漢研セミナー

講演者 **Dae-Jin Yun** 教授

建国大学(韓国)先端バイオ工学部



Ranking #1 of the best scholar of Molecular Biology in Korea

(<https://research.com/scientists-rankings/molecular-biology/kr>)

演 題 (Lecture in English)

気候変動に対応する植物ストレス研究

Extra Talk "The Path to Success as a Researcher"

植物が環境ストレスに応答する際には、複雑に組み合わされた分子および生化学的シグナルネットワークが精密に作動し、それらの相互作用によって植物全体の耐性や感受性が決定されます。非生物ストレスは、転写、翻訳、翻訳後修飾といった多層的な遺伝子発現レベルを通じて、恒常性を維持するための生化学的応答を誘導します。私たちの研究室では、過去27年間にわたり、分子遺伝学、生化学、分子生物学、ゲノミクスを統合した多次元的アプローチを用いて、モデル植物 *Arabidopsis thaliana* のストレス耐性機構の解明に取り組んできました。これまでの研究を通じて、非生物ストレス応答に関与する主要な遺伝子やシグナル経路を同定し、植物が環境変動に適応するための包括的なネットワークモデルを構築しました。本講演では、新たに発見されたストレス耐性に重要な遺伝子群と、それらの機能を制御する新しい分子メカニズムを紹介します。これらの成果は、植物のストレス応答に対する理解をさらに深めるとともに、将来的なストレス耐性作物の創出など、農業への応用にも大きく貢献することが期待されます。

日 時: 2025年11月26日(水曜日)15時00分～16時30分

場 所: 民族薬物資料館3階会議室(杉谷キャンパス)

主催 : 和漢医薬学総合研究所

連絡先: 資源科学領域 庄司翼 (076-434-7601)